

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 14日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 17名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	15人	1人	1人	17人

前回の改善計画	・利用者の「～したい。」という思いを関わりの中でしっかり聞き取りを行う
前回の改善計画に対する取組み結果	・コミュニケーションをとりながら、利用者のニーズを含め聞き取りが来ている ・言葉の端々に出てくることを会話の中から聞き取るようにしている ・家族とのコミュニケーションや情報収集が不足している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	10	7	0	17
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	15	2	0	17
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	14	2	0	17
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	14	1	0	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・介護支援専門員として、利用者の話の傾聴は常に心掛けている ・サービス開始前は、介護支援専門員の聞き取り情報を確認し、できるだけ事業所に慣れてもらえるよう意識して関わるようにしている ・情報共有のためのミーティングを実施して、ニーズ把握に努めている
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・利用者ごとの担当職員により聞き取りを実施する体制がまだしっかり定着していないと感じる ・利用者ニーズを職員全体で共有することに時間を要する ・家族のニーズ把握のためのコミュニケーションが不足していると感じる (介護職員) ・サービス利用開始前のミーティングに参加できない職員の情報共有方法に課題がある
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・担当となった利用者には、一日に短時間でもよいので必ずコミュニケーションをとることを心がける
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 14日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 17名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	8人	1人	17人

前回の改善計画
 ・日々の関わりの中で利用者の思いを支援し、支援について定期的な振り返りを行う

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・日々の関わりの中で利用者の思いを確認はしていても、スタッフ間で話し合ったりすることが出来ておらず、振り返りまでには至っていない。
 ・利用者の思いに対して、ケアプランの確認し目標を把握しきることが不足している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	5	11	1	17
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	10	0	17
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	10	0	17
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	4	11	2	17

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・「生活機能向上連携加算」算定に伴い、利用者の「～したい」を聞き取る機会は増えている
 ・担当利用者の「～したい」については、把握する習慣ができてきたと感じる

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・実践の振り返りを行う機会が設けられていない
 ・利用者の「～したい」について、担当利用者以外の把握が十分ではない
 ・利用者の「～したい」はケアプランに反映されているが、ケアプランに基づくケア提供ができているとは言い難い

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・ケアプランの確認や振り返りのカンファレンスを行い、利用者の「～したい」に寄り添う支援につなげる

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 14日

3. 日常生活の支援

メンバー 17名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	8人	0人	17人

前回の改善計画	・利用者の個別ケアを把握して、本人の望む暮らしへ近づけるよう利用者と一緒に支援する
前回の改善計画に対する取組み結果	・本人に合ったケアや気持ちや体調の変化は気付きが来ている。本人の声にならない声やサービス利用前の生活について目を向けることが出来ていない為、暮らしへ近づけるような工夫は出来ていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	0	15	2	17
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	15	1	0	17
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	9	0	17
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	14	2	0	17
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	13	4	0	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の体調や気持ちに変化があった際の共有はするようにしている ・夜勤勤務が多いが、日中の利用者変化等に関する情報収集はこまめに実施できている ・全体ミーティングの中で、利用者の変化に応じたケア方針の検討をする時間は設けている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「以前の暮らし方」の把握が不足している ・利用者の変化に伴う、支援内容等の変更が即時的にできていないことがある ・「声にならない声」に対する把握や意識が不足していると感じるとともに、困難さを感じる ・施設都合のケア提供や、作業的な対応になってしまっている時もあるのではないかと感じる	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・本人の望む生活が意識できるようにアセスメントを丁寧に行い、職員全体で支援できる体制づくりをする	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 14日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 17名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	11人	5人	1人	17人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者と地域交流の機会を増やせるよう、イベント企画や年間計画をたてる
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者と地域交流の機会は意識して取り組めた。年間のイベントスケジュールをたて、利用者が地域の方と交流出来るように出来た。 ・利用者と地域という部分において、理解が出来ていない部分も多くある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	11	5	1	17
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	10	1	17
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	11	1	17
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	12	4	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、地域交流の機会を増やすことができた ・利用者宅を訪問した際に、暮らし方や家族関係の理解に努めた ・ふらっと広場で開催されるイベント時 (Oneぱくキッチン等) に、利用者も参加するようになった 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のこれまでの生活スタイルや人間関係の把握が十分ではない (介護職員) ・利用者が暮らす地域の社会資源の把握が不十分であった ・訪問業務をする機会が少ない職員は、利用者の自宅での生活や地域との関わりの理解が不足する 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者を取り巻く地域の方々と関わり、利用者理解を深める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 14日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 17名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	9人	5人	3人	17人

前回の改善計画	・地域で認知症の方を支えられるように、地域の方との関わり・認知症の知識の向上を図る
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域との関わりは以前より増えてきているが、地域の中でどう支えるのか理解が出来ていない部分はあると思われる。認知症の知識の向上に関しては勉強会等に参加できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	6	9	1	17
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	12	2	0	17
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	11	5	0	17
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	11	5	0	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ニーズに応じた柔軟なサービス対応は提供できている ・「訪問」「通い」「宿泊」サービスを、利用者・家族のニーズに応じて柔軟な対応をしながら対応できている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「通い」「宿泊」サービス利用頻度が多い利用者については、地域とともに支えているとは言い難い ・地域の社会資源に関する情報が不足している	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域の資源の活用方法などを知り、知識を深める	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 14日

6. 連携・協働

メンバー 17名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	3人	5人	17人

前回の改善計画	・地域において事業所として何ができるか検討し、参加・活動する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・事業所としては地域に向けて取り組める部分取り組んではいるが、スタッフ個人としては参加・活動の実感なく終わってしまっている。秋祭り等は事業所として地域と関わり、一緒に参加できたことは大変良かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	7	2	7	17
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	4	4	8	17
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	4	5	8	17
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	8	3	3	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・秋まつりやボランティア交流、Oneぱくキッチンの活動を通じて、地域の高齢者や子供たちが事業所を訪れる機会は増えた	
・地域の関係団体とどのような連携、協働ができるのか、話し合いの機会を作ることにはできた	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・サービス担当者会議等では、他事業所との連携機会はあるが、その他の地域の関係団体などとの関わりが持っていない	
・他機関や、地域の団体などとの連携機会がある職員は限定的になっている	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者に関わる方（地域・他事業所等）を知り、連携がとりやすくなるよう関わりをもつ	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 14日

7. 運営

メンバー 17名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	6人	7人	4人	17人

前回の改善計画	・地域の方が集まる事が出来るように、ふらっと広場での交流を企画する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域の方が集まれる企画としては、秋祭りしか企画できていない。年間でイベント企画している事に地域の方数人の参加あり。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0	4	11	2	17
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	10	6	1	17
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	6	5	6	17
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	4	9	4	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ふらっと広場での開催イベントや運営推進会議などで、地域の方と接する機会はある ・利用者、家族からいただく意見は運営に反映できるように努力している（利用者アンケートも実施している） ・地域からの意見や苦情は、運営推進会議等を通じて運営に反映できる体制にはなっている ・事業所の行事やイベント開催を通じて、地域の方とのつながりの機会は増えていると感じる	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所と地域の協働による取組み機会を作ることはできていない ・運営推進会議等で、地域からの意見や苦情を十分にヒアリングできているとは言い難い ・事業所の在り方についての職員全体で意見交換する場が設けられていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・スタッフ全体で地域の方と過ごせる場づくりを話し合い、イベント時の参加等を広く伝えて参加してもらえるようにする。 ・スタッフの地域との関わりについて周知する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 14日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 17名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	9人	2人	17人

前回の改善計画	・介護技術面・接遇面ともに研修や施設内勉強会を通してスキルアップを図る
前回の改善計画に対する取組み結果	・スキルアップに対して取り組む姿勢は少なく感じるが、施設内で毎月勉強会は開催している。 ・リスクマネジメントへの取り組みは半数程度となっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	6	7	3	17
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	5	6	17
③	地域連絡会に参加していますか	0	3	3	11	17
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	8	7	2	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・研修は事業所内で実施できている。計画的に外部研修への参加も全員は難しいもののできている ・リスクマネジメントの取り組みは、不十分さはあるものの昨年と比較しインシデントに対する意識を高めることはできた ・地域包括支援センターが主催する地域連絡会などへ、管理者等は参加している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・リスクマネジメントの取り組みは、不十分である ・スキルアップのための研修機会を業務時間内に確保することが困難	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・スキルアップの研修の案内通知を行い、スタッフの研修機会を作る ・リスクマネジメントの勉強会を行う	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 14日

9. 人権・プライバシー

メンバー 17名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	13人	3人	0人	17人

前回の改善計画	・身体拘束・虐待を防ぐための勉強会を開催する。また、プライバシーの保護等についても学ぶ。
前回の改善計画に対する取組み結果	・身体拘束や虐待に関する勉強会は行われており、慎重に進められている。 ・精神的虐待や威圧的な言動（スピーチロック含む）は減ってきてはいるもののまだ残っている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	7	0	0	17
②	虐待は行われていない	8	7	2	0	17
③	プライバシーが守られている	5	10	2	0	17
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	9	1	6	17
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	10	2	1	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・利用者の守秘義務遵守は心がけている ・事業所内勉強会を通じて、身体拘束やプライバシーの侵害につながる不適切ケアをしないようにしている ・重大な身体拘束や虐待は行われていない

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・利用者のプライバシー侵害につながるような情報共有を、みんながいる前でしていることがある ・余裕がない状況下で、利用者に対し不適切な言動を発してしまうことがある ・不適切ケアやスピーチロックなどの防止に向けた取り組みを計画しているが、思うように進められておらず、改善につながっていないと感じる

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・威圧的な言い方や間違った声掛けなどに気づいたときに注意し合えるようにする。 ・身体拘束・虐待についての事例検討など随時行う

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団友愛会	代表者	岩砂 智丈	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に開放されている地域交流スペース「ふらっと広場」がある ・医療法人である強みを活かし、看護師を配置し、医療依存度の高い方に対しても、自立支援のためのケア体制が整備されている ・在宅生活を支えるために、柔軟な訪問サービスの提供を行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 とまり木	管理者	所 真紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	3人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・利用者の「～したい」という思いを日々の関わりで支援し、振り返りを行っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の関わりの中で利用者の思いを確認はしていても、スタッフ間で話し合ったり、振り返りまでには至っていない。 ・利用者の思いに対して、ケアプランの確認し目標を把握しきることが不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当利用者の「～したい」については、把握する習慣ができてきたと感じる ・利用者の「～したい」について、担当利用者以外の把握が十分ではない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランの確認や振り返りのカンファレンスを行い、利用者の「～したい」に寄り添う支援につなげる
B. 事業所のしつらえ・環境	・イベントとして、企画出来た数も少なかったので、年間計画を立てて開催していく。	・利用者と地域交流の機会は意識して取り組めた。年間のイベントスケジュールをたて、利用者が地域の方と交流出来るように出来た。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、地域交流の機会を増やすことができた ・利用者が暮らす地域の社会資源の把握が不十分であった 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふらっと広場での企画、イベントを通じて、ふらっと広場をもっと多くの地域の方に利用してもらいやすい場所にする
C. 事業所と地域のかかわり	・次回も、専門職を地域に派遣するなどの活動を積極的に行っていく。	・事業所としては地域に向けて取り組める部分取り組んではいるが、スタッフ個人としては参加・活動の実感なく終わってしまっている。秋祭り等は事業所として地域と関わり、一緒に参加できたことは大変良かった	<ul style="list-style-type: none"> ・秋まつりやボランティア交流、Oneぱくキッチンの活動を通じて、地域の高齢者や子供たちが事業所を訪れる機会は増えた ・他機関や、地域の団体などとの連携機会がある職員は限定的になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に関わる方（地域・他事業所等）を知り、連携がとりやすくなるよう関わりをもつ
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・今年度も、地域で支えるという観点をもって、計画書をたてる。また地域で支えるための勉強会を行う。	・地域との関わりは以前より増えてきているが、地域の中でどう支えるのか理解が出来ていない部分はあると思われる。認知症の知識の向上に関しては勉強会等に参加できている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「通い」「宿泊」サービス利用頻度が多い利用者については、地域とともに支えているとは言い難い ・地域の社会資源に関する情報が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源の活用方法などを知り、知識を深める

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・地域活動への参加で、何が出来るかを検討し、業務に無理の無い範囲から活動を行う。</p>	<p>・地域活動への参加は秋祭りや児童館との交流、地域の小中学生との交流など積極的に出来た。地域への活動に対するアドバイスなど運営推進会議で助言を頂くことが出来た</p>	<p>・SG会参加や地域活動に関しては意識している。</p>	<p>・サロンとのつながり、ふらっと広場の活用を通じて企画・提案する</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・BCP訓練を行った後に、振り返りを行い、マニュアルの見直しを行っていく。</p>	<p>・BCP訓練を行い、振り返りは行っているが、マニュアルの見直しまでは行えていない。BCP訓練での必要物品の場所は理解されるようになった。</p>	<p>・BCP訓練で分かることも多くあるが、実践できるようにしっかりやっておく必要がある。</p>	<p>・防災・災害対策について地域と協同して行えるよう検討する</p>

